

常任委員会報告

総務厚生委員会

▼平戸市行政組織条例の一部改正について

Q 教育委員会が田平支所に移ること、大島地区や公共交通機関利用の平戸・生月地区の住民、特に高齢者に不便をかけることになるが、何か対策を考えているのか。

A 田平支所に移転することで不便をかけないよう、各公民館で対応可能なものは公民館で行い、対応困難な場合は、出向いて行くなど教育委員会と対応を検討する。

Q 将来的には本庁にスペースができれば、教育委員会は本庁に戻すのか。

A 現在、本庁の増築等は予定していないが、将来において、本庁にスペースができれば教育委員会は戻す予定である。

Q 移住定住環境整備事業補助金
2017年
昨年は市内業者による施工が多かったが、今年は市外業者が伸びている。市内業者で施工した方が補助率も高いのに、

●各常任委員会へ付託された件数●
総務厚生委員会 ・議案 24件
産業建設文教委員会 ・議案 17件



市外業者が伸びている要因は何か。

A 分析は行っていない。

Q 市内業者と市外業者の営業力の違いや資金計画、設計、施工などトータルでのサービスの違いが有るのかもしれない。要因を分析し、市内業者にフィードバックし、市内業者の育成につなげていくことも行政の役目ではないか。

A 今後につなげていきたい。

委員からは、住宅改修の補助では、市内・市外業者の区別がないが、これも市内業者に有利な制度にすべきである。また、市内在住の若者が、近隣の自治体に家を建設したり、借家するケースが数多く見受けられる。定住促進の観点からも市内在住者に対する助成制度を充実する必要があるのではないかとこの意見があった。

【総務部地域協働課】
▼観光交通ターミナル指定管理料について
人件費は、事務局長給与との説明であったが、実際には他の職員も業務を行っている実態があることから、実態とあった内容に整理するように。

A そのようにしていきたい。
委員からは、事務費や利用者の利便性や安全性に関する経費を細かく指定するのではなく、指定管理者の裁量に任せる部分が必要ではないかとの意見があった。

【総務部地域協働課】
▼観光交通ターミナル指定管理料について
委員からは、事務局長給与との説明であったが、実際には他の職員も業務を行っている実態があることから、実態とあった内容に整理するように。

▼平戸市総合計画基本構想の策定について
Q 計画書の作成部数、配布先や活用等はどうのように考えているのか。
A 計画書は1千500部作成し、議員、職員、各施設等に配布を予定している。冊子の大きさは、いつでも参照できるようにバッグに入れて持ち歩けるサイズとし、A5版サイズを考えている。また、概要版を1万5千部作成し全世帯に配布することとしている。

基本構想では市内7地区の地域プロジェクトが設定され、各地域の独自性や優位性を活かして10年後も元気で生き生きとした地域であり続けるための目標の設定、施策の方向性、重点的な取り組みが記載されている。基本構想は概念的な記載にとどまっていることは理解するが、今後作成される基本計画、実施計画の中で、それぞれの人口減少の状況や地域の課題・特性に沿った計画が盛り込まれていくよう期待しているという意見があった。

【財務部企画財政課】

産業建設文教委員会

▼クルスの丘公園整備事業の繰越明許費について

Q 駐車場予定地の農業振興地域除外申請を進めているとのことだが、農業振興地域内であったことは把握できていなかったのか。

A 結果として駐車場予定地が農業振興地域の区域内であったことが5月の連休中に判明し、それから除外申請の手続きに入ったため繰越しをせざるを得なくなった。このような事態を招き、深くお詫言います。

本委員会としては、計画の甘さにより事業着手が遅れたことに対し苦言を呈することにも、世界遺産登録に関する事業でもあるので、今後十分な進捗管理を行うようこの要望をした。

【文化観光工部観光課】

▼わくわくドキドキ子どもジョブチャレンジ事業について

Q 対象となる子どもどの範囲と目標人数および実施主体は。

A 市内外の小学1年生から中学3年生を対象とし、平成30年3月29日から31日の3日間で延べ3千人を目標としている。実施主体は企業や個人事業者を基本に、30社程度を集約したい。



委員からは、宿泊などによる経済効果が見込まれるため、緻密な戦略を立て観光・商工・教育を融合させた新たな観光誘客を目指すようこの意見があった。

【文化観光工部観光課】

▼(仮称)戸石川公園整備事業について

Q アスベストの除去費・処分費は、当初予算に計上すべきものではなかったのか。

A 離島開発総合センターの解体に際し設計委託を行ったことより調査を行ったところ、天井裏の鉄骨などにもアスベストが吹き付けられていたことがわかった。足場設置など多額の予算を必要とすることから調査を行なっておらず、当初予算段階では把握できなかった。

また、処分費について、最終的にはマニフェスト(産業廃棄物管理票)で数量を管理・確定し、設計変更を行う。

【建設部都市計画課】

▼ふれあい会館管理運営事業について

Q 空調機器については、獅子ふれあい会館だけでなく、他のふれあい会館でも不具合があるようだが、今後どうするのか。

また、故障が見られるため、特に室外機についてはカバーで覆うなど塩害対策が必要

要なのではないのか。

A 他のふれあい会館の空調機器も使用頻度の高い所から不具合が出ており、適時に更新する。一方、今回の獅子ふれあい会館に取り付け予定の機械は、耐重塩害仕様になっているものの、機械の長寿命化を図る上での対策は必要であり、今後検討していく。

【教育委員会生涯学習課】

▼指定管理者の指定について

Q 大島地区の大島地区活性化センターに指定管理料が設定されていないのはなぜか。

A 大島地区活性化センターは建設時に地区が利用料を負担するとの取り決めをしており、それを踏襲したためである。

Q 生月地区にある同様の施設には指定管理料が設定されており、大島地区活性化センターへも指定管理料の設定は考えられないか。

A 地区住民の集会のみならず、行政が行う様々な事業や災害時の避難場所として使用されており、行政による

自分の負担が必要ではないかと考えられるため、収支を精査し、関係部署と協議を行う。本委員会としては、指定管理施設については料金設定や指定管理料の支出のあり方などについて、整合性のとれた運営形態となるよう要望をした。

【農林水産部農林課】

▼平戸市春日集落拠点施設条例例について(現地調査)

世界遺産登録後の拠点施設として有効活用が図られるよう要望した。



【文化観光工部文化交流課】